

読売新聞記者の方の話を聞いての感想
新聞を作るのに沢山の人が協力していてすごいと思った。新聞を作るためには、辛いこともあるとわかった。
自分は、話を聞いて、もっと新聞を読んでみようと思いました。
事故をした人の家族にあってお話を聞いたり、じゅじゅを持っていっておまいりをする話を聞いてわかりました。災害がおこったときは取材に行くことがわかった。
私は新聞なんてそんなによむことはなかったけれど、新聞記者の方たちが、新聞のことを教えてくれて新聞の面白さが分かって、これからはもっと新聞を読んでみようかなと思いました。
新聞が意外に大事なことがわかりました。色々お話を聞いて、切ないことなどもあるけど新聞のために頑張ってる情報や写真をもらっていることがわかりました。少し新聞記者のどで働きたいとおもいました。
新聞のことでいろいろなことを聞いて印象に残ったのは、新聞を作るのに 10日もかかるとわかりました。新聞記者の方はとても心優しい人が多いんだなと思いました、理由はじゅずをもってお参りすると聞いたからです。
新聞記者は被災者の人達のことでも新聞にしている事故なのでなくなった人を新聞にするときは数珠を持っていって線香を上げているというのがわかったし被災地に行くときは電車と車で行けるところまで行ってそのあとは歩いていくのがわかった
神戸新聞とかだと兵庫県だけに発売されるけど読売新聞は全国に発売されるからとてもいい機会になりました。本当に来てくれるなんてびっくりしました。もう会えないと思うけどまたあったらいいなと願っています本当にありがとうございました。
新聞には、あまり興味を持っていなかったけど、話を聞いて面白そうだなーとか見てみたいなーという気持ちができました。あとこんなにも新聞を作るには時間がかかるから大変だと思いました。いろんな役割があり、それで災害や事件とかをみに行ったりしないといけないからもっと大変だと思いました。あと昔の人は新聞の匂いがきつかったけど、いまはあんまり匂いがしないから、工夫していてすごいと思いました。また機会があれば、お父さんに新聞を買ってもらい、いっぱい読みたいです。
事故で亡くなった人の家族に話を聞いたり、地震が起きた時には実際に被害地に行って話を聞くと言う説明で新聞を作るのは最初は簡単だと思っていたけど時間をかけて作られていたのに私はびっくりしました。
もし、自分が新聞記者になったときに、辛いことがあった人に話を伺うときは、必ず、なくなってしまった方の冥福を祈り、二度とそのようなことがないようにと記事に書くということを守りたい。
自分は家で新聞を取っているけれど私はあまり読まないからわからないことがたくさんあったけれど読売新聞の方に話を聞いて新聞の読み方や事故にあった方の家に行ってお話を聞いたり、被災地に行って被災地の方にお話を聞いたりして新聞の詳しいことを教えてもらったのでこれから新聞を読んでみたいと思いました。
昨日の話を聞いて新聞の事を最初よりすごく知りました例えば昔の新聞の匂いはすごく強かったり色々な新聞によって見出しも違うし色々な新聞によってあつかいも違う後げんこうが書いてあるのが前文やその他新聞には色々細かく作られていると分かりました僕は新聞が難しいと思ってるけど少しでも新聞を読んでみたいです
新聞記者といえば、取材するだけだと思っていたけれど、「なくなった人を拜んだり、被災地に直接行く」などの積極的な活動や、相手を思いやる活動をしていると知って、すごいと思いました。家では、新聞はとってなくて、あまり関係ないと思っていたけれど、これからは、ネットだけでなく、新聞も読んでみたいと思いました。
被災地では車から降りて歩いて行って被害にあった人に話をするのもすごく辛かったとっていました。そこでなくなった人に挨拶をするため数珠を持っていくのだそうです。私は辛いけどやらないといけないことは全てやっていますすごいと思いました。
普段はあまり新聞を読んでいなかったから新聞の読み方を知らなかったけど、新聞記者の人の話を聞いて読み方がわかりました。新聞にはインターネットの記事とは違って読みやすいように工夫されていると知っていろいろな工夫がされているのがすごいと思いました。
災害のときとかにも現場に行って撮影したり被害にあった人にインタビューをしたりして新聞を作る人達は、「さっさと終わらせて帰ろう」みたいな感じのことを思っていると思ってたけど本当はじゅずを持って行ったりして被害にあった人の気持ちに寄りそって行っているんだと分かりました。
新聞記者の人たちはキャップやデスクなどチームを作って新聞を作っていることが分かった。他にも宣伝や決めた地域だけじゃなく他の地域のことも書いている事がわかった。新聞を作るまでのことや新聞がどういうふうになっているのかがよく分かった。

読売新聞記者の方の話を聞いての感想
この授業があったおかげで新聞の読み方や新聞をつくる人は複数種類があるということがわかりました。ネットより新聞のほうがより正確な情報がわかるので気になること等これから少しずつ新聞を読み新聞に慣れたいと思います。そして字になれて、本などを読めるようになりたいです。
災害の被災地に行くのは大変で、家族などがなくなった方にお話を聞くのは辛いことだと分かりました。そして、新聞についていろいろなことを初めて知りました。また新聞を読んでみたいです。
新聞の読み方とかいろいろわかった
新聞記者さんたちの話を聞く前までは新聞を作るのが大変で取材の方はそこまで大変だとは思いませんでした。でも、来てくれた新聞記者さんの話を聞くと取材は、長くて1週ほどかかると聞き、びっくりしました。昔の新聞のことも教えてください、昔の新聞は油性匂いがすごかったそうです。記者さんから話を聞くまではなんとなく読んでいた新聞がすごく奥深くなっているんだなと思えました。
いろんなことがありました。教えてくださいありがとうございました。命の大切にできる優しい人たちだなと思いました。大変なお仕事をしてまで私達に知らせてくれてありがとうございました。これからも良い新聞を作ってください。
新聞は文章ばかりで読むのは難しそうだなと思っていたけど、広告や4コママンガなどもあって面白そうだったのでまた、新聞を読んでみたい。新聞の読み方や新聞の場所の名前がわかった。新聞記者には5種類もあると知ってびっくりした。
最近読んでなかったけどまた新聞に興味湧いてきたのでまた読みたいです。新聞はニュースだけだと思っていたけど広告もあることを初めて知りました。取材記者さんが1番大変なのかなと思いました。
新聞は難しくあまりわからないことが色々書いてあるものだと思っていたけど広告など難しい記事もあったのでまた見たいと思いました。新聞には頭、肩、へそがあるということが知りました。取材のときは言葉だけでなく表情で気持ちを読み取ったりすると分かりました。
私は前まで新聞は難しいことや政治のことしかなく子どもが読んでもわからないものだと思っていましたがアニメや広告、学校のことを書いてくださっていてとても新聞に興味を持ちました。授業谢谢你们ありがとうございました。
僕は前まで、新聞はとて文字が多く読みにくいものだと思っていましたが、話を聞いて、そんなに難しいものではなく、知識にもなるものだと知ったので、一度読んでみようと思いました。
ぼくは、新聞を読むときどんな読み方がわからなくて読まなかったけど新聞のことをくわしく教えてもらって新聞のおもしろいところの1番教えたいことを読めるようになりました。
ぼくは、あまり新聞を読まないけど、新聞記者さんたちの話を聞いて、家で、読んでみたいなと思いました。記事だけではなく、広告などもあったので面白そうだなと思いました。いろいろな記者の種類があるとわかりました。勉強になって、楽しかったです。
新聞の事をよくしれて、面白いと思ったのもっとじっくり新聞を読みたいです。
昨日読み方とかを聞いて、新聞は読むだけと思っていたけど、写真とか絵とかにも工夫していることが分かりました。新聞のよいところが知れて嬉しかったです。また新聞を読みたいです。
わたしは、初めて知ったことは、新聞には、頭、かた、へそがあるとわかりました。記事一面にこうくがのるということがわかりました。また新聞を見てみたいです。
新聞は、あまり難しくなくて簡単に読めるものだということが分かったので、時間があたら手にとって読んで見ようと思いました。意外と広告やイラストなどが多くて、面白そうだなと思いました。昔はインクの匂いがとても強かったと言っていました。今はあまりインクの匂いはしませんでした。
新聞を作るには、簡単じゃなく難しくて5つの作業もしなくちゃいけなくて大変なことがわかったそして新聞にも、工夫が沢山あることを知った。
浦島太郎というお話で今と昔で話の内容が異なる場所が多く玉手箱を開けると同じでも今のバージョンのほうしか知らなかったが昔の話し方だと文も異なって昔の雰囲気が伝わった。
新聞は、多分一面目に新聞記者が一番伝えたい事が書いてあると知りました。新聞記者の種類は、取材記者、写真記者、キャップ、編成記者、デスクがあると知れました。
新聞には誰でも見やすいような工夫をしたりしてすごく楽しかったです 他には、新聞記者さんたちはいち早く情報もお届けするための努力をしているとわかりました。
新聞の書き方について分かることができました。 頭 肩 へそ がわかりました。 またぜひ色々なことを教えてもらいたいです。

読売新聞記者の方の話を聞いての感想
<p>新聞記者の人がきて新聞のことがしれてよかったです。あと新聞は文しかないと思ってたけど広告があるとわかった。あと子供が読みやすい新聞にしかないと思ってたけど大人とかがよむ新聞にも漫画があるとわかった。</p>
<p>新聞はあまり興味がなかったけれど、新聞記者さんのお話を聞いて色々な大変さや新聞の 魅力がよくわかりました。おばあちゃんの家新聞がたくさんおいてあるのでまた見たいと思いました。このたびはありがとうございました。</p>
<p>新聞の読み方について知りました。新聞は、字ばかりで面白くないと思ってたけど、他の新聞を見たら、画像を大きく見せていたり、自分が気になることが書かれていました。作る人によって、新聞の作り方が違って面白かったです。</p>
<p>読売新聞記者さんのお話を聞いて、新聞には記事だけでなく広告などがあってとても興味をもったので家でよく新聞を読みたいです。</p>
<p>新聞には、頭・かた・へそがあることを初めて知りました。新聞記者は地震とかがあったとき被害にあった人に話を聞くのはあまり嫌だと思うけど、みんなのために聞けるのはすごいなと思いました。</p>
<p>私は、新聞や本を読むのがあまり好きでは、ないのですが、読売新聞新聞さんのおかげで少しでも、興味が湧きました。なので学校や家で新聞読めるきかいがあったらぜひ読もうと思いました。</p>
<p>新聞記事を作っているところの人達はいろんな役割があるとわかった。新聞の読み方もよくわかった。取材に行くときは必ず数珠を持っていくということがわかりました。</p>
<p>新聞の読み方、新聞の詳しいこと、あと取材の忙しさ、いろいろな役割の事とかを詳しく教えてくださいまして本当にありがとうございました。</p>
<p>阪神・淡路大震災が起きた時でもなぜ取材するのだろうと思ってたけどもう2度と同じように会いたくないから取材をしていると分かったし数珠を持ち歩いて悲惨にあった人たちに祈りしているんだと分かった。</p>
<p>新聞には1枚目の左上に目次がのっていることがしれました。 新聞には頭、肩、へそがあることをしれてよかったです。</p>
<p>昔の新聞は良く知らないの、油性のインクのような匂いがしたことに驚きました。 私達が普段読んでいる新聞は、たくさんの方が関わって作っていることにありがたいと思いました。</p>
<p>僕は新聞を作るのは1週間ぐらいかかるのかと思いました、1日以内にあんだけの量の文字を書くことはすごいなと思いました。</p>
<p>新聞は5つのチームに分かれて作ることを初めて知りました。</p>
<p>事故や災害などの現場に行くときは、記者の方もとてもつらいんだとわかりました。 記者の中でも、取材記者、写真記者、キャップ、デスク、編成記者それぞれで仕事を頑張っているんだとわかった。</p>
<p>被災者に取材するということがとてもつらいことだと知った。新聞の読み方や、新聞社で働く人の苦勞がわかった。私もぜひ新聞を読んでみたいと思った。</p>
<p>僕は新聞の読み方がわかりませんでした。けど話を聞いて読み方がわかりました。 昔の新聞も教えてくれたし取材するときは、被害にあった人や事件で子供をなくした人の取材はすごく辛いと話をきいてわかりました。</p>
<p>僕は新聞にはこれまであまり興味がなかったのですが、読売新聞記者の田村さんにお話を聞いて、「新聞って作るの大変なんだな」と思い、新聞を読みたいなと思いました</p>
<p>一番大変な事は、地震とかが起きたときにその時に、なくなってしまった人のことを家族とかにお話を聞くことがいちばん大変なんだなと思いました。もっと異論のことを聞いてみたいなってお思いました。</p>
<p>被災地にしゅざいをしにいく時、必ず数珠を持っていくことを初めて知りました。新聞記者の方と合ったのは初めてで、少し緊張したけど新聞記者さんが入っていたことを簡単にまとめられました。</p>
<p>何人もの人で一つも新聞を作っているのにびっくりしました。ヘリコプターなどで撮影することもあるんだと知りました。災害時は歩いて現地まで行くこともあることにびっくりしました。災害などで誰かをなくした人に話を聞くのが苦しいということがわかりました。</p>
<p>新聞にはとてもいいことがあると分かった。新聞の人たちは悲しい気持ちでその現場に行かないといけないので、新聞はとても難しい仕事だと思った。新聞をこれからはいっぱい読みたいと分かった。</p>
<p>新聞を作るにはこんなにも苦勞をして作られていたんだと分かった。取材記者だけだと始めは思ってたけれども、いろんな役割で新聞がつくられているのだと分かりすごいと思った。ぜんぜん新聞について知らなかったけれどもこの機会に新聞についてもっと知れた。</p>

読売新聞記者の方の話を聞いての感想

インターネットだけでなく新聞からも情報を得ることは大切だと思いました。新聞を作るときの大変さなどを知ってすごいなと思いました。わたしも新聞をもっと見てみようと思います。

いろいろなところに行って、記事を書いているのがすごいと思いました。災害が起きたときには、被災地に行って記事を書くのがすごいと思いました。

今まで被災者や、遺族に話を聞いた記事を見てどうしてお話を聞くんだろうと思っていたがこれからもこんな事が起きないようにとされていたのが心に残りました。

お話を聞いて、私も辛いと思ったことがありました。それが、災害にあった人に、話を聞くことでした。それは、私も辛いと思いました。新聞記者の人は、すごいなと思いました。新聞を読んでみたいと、思えるようになりました。

田村記者が何から何まで教えてくれてしかも、質問も色々聞いてくれていい人で、面白い人だなあとしました。新聞のことを全部聞けなかったので、またもし出会ったら聞きたいなあとします。

どんなに悲惨な現場にも行ってとてもすごいと思いました。田村記者の話を聞いて新聞を作ることは難しいと思いました。毎回現場に数珠を持っていっているということは田村記者はとても優しくすごい人なんだと思いました。

新聞のことをよくしれてよかったと思いました。頭・肩・へそ、など教えていただきましたが、私はそのことを知りませんでした。名前は知っているけど意味は知らない物もいっぱいあったのでしれてよかったです。このことを知ったので時間があるときに新聞を読みたいなと思いました。

昔は事故で亡くなった家の人に行き取材をしないといけないと知ったその時には数珠を持っていきお墓参りをすると知った。昔はこんな悲しいことをしないといけないと知った

最初はインターネットとかでわかるから新聞は読まなくていいと思っていたけど、新聞はもっと昔のことについてわかるからすごいなと思いました。